

# 進路通信「15の春」



大きな行事「学校祭」も無事に終了し、高校入試が約4ヶ月後に迫りました。

さて、10月3日付の北海道新聞朝刊「まなびのひろば-ぐんぐん-」に、『**近づく高校入試 勉強のコツは**』という特集記事がありました。記事には、『**「インプット(知識を取り込む)」と「アウトプット(問題を解く)」、バランスを意識することが大切**』で、入試本番に向けてアウトプットの量を増やしていくイメージが必要。また、復習する際に、『**教科書の見直し**』や『**模試(学力テスト)の問題を解き直す**』ことがカギを握るようです。

特に、『**答えが『分かった』と『解ける』は違う。その答えになるのか理解できるまで、何度でも解き直す**』ことが大切だそうです。【詳しくは裏面に載せた新聞記事をご覧ください。また、校内の進路関係掲示板にも掲示中です。】

さらに、もう1つ、新聞記事を紹介します。勉強する際、すぐにでも活用できそうな参考としてご覧ください。

読売新聞[2022年5月25日付]

**記憶に残る勉強、付箋が助けます**——。神戸市在住の女子高校生(16)が、**学んだ内容が頭に残る復習のタイミングを知らせる**付箋を考案した。付箋は今春、特許を取って商品化され、高校生は**効率良く勉強するのに役立ててほしい**と話している。

付箋には上から、学習した日の「翌日」「1週間後」「4週間後」の3つの日付が記されている。例えば、2日に学んだ内容は、参考書の該当ページに「3」「9」「30」日と書かれた付箋を貼り付ける。復習した日付を切り取れば、次に復習する日が一目で分かる。

高校生が付箋を考えたのは、中学受験で使用した問題集の中で、ドイツの心理学者エビングハウスが提唱した**「忘却曲線」**を知ったことだった。**人の記憶は時間の経過で薄れるというもので、問題集ではこの理論を活用して復習すれば、薄れる度合いが減り、定着しやすくなる**としていた。

学習内容を挟んだファイルを1か月の日数に合わせて31個作り、理論の周期で復習すると成績が伸び、第1志望校にも入学できた。その後、付箋で周期を知らせる方法を思い付いた。

高校生は「小さなひらめきが形となり、感動している。これからもアイデアを膨らませたい」と話す。



## 江差高等学校説明会

1.日時 10月30日(月) 13:00~15:30

2.当日の日程

- 12:45~ 受付(生徒玄関からお入りください。)
- 13:00~ 全体会(学校紹介等)[体育館]
- 13:40~ 体験授業①[30分/各教室等]
- 14:20~ 体験授業②[30分/各教室等]
- 14:50~ アンケート記入
- 15:00~ 部活動見学[各活動場所]
- 15:30 説明会終了

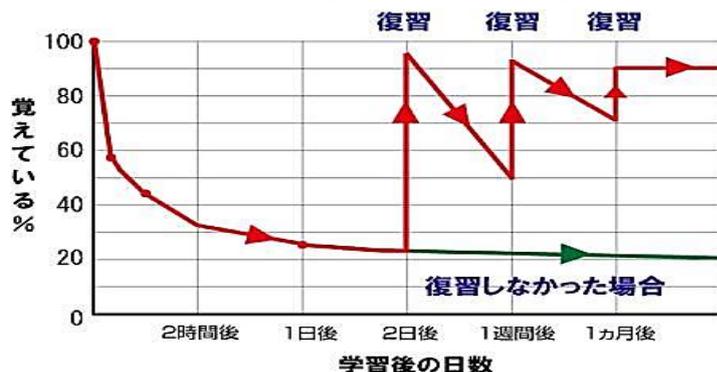
3.持ちもの

筆記用具、上履き、外靴袋、水分補給、傘等の雨具

★上記の物を入れる小さめのカバンやバックがあると◎

「エビングハウスの忘却曲線」とは個人差はありますが、**人の脳は1度勉強したことを20分後には42%、1時間後には56%忘れ、1日後には74%忘れ、さらに1週間後には77%忘れ、1か月後には79%を忘れる**とされています。

エビングハウスの忘却曲線と復習の関係



【参考 HP:松島町教育委員会】



入試までに取り組む勉強のインプットアウトプットの比率のイメージ

知識を取り込む

学校の教科書  
1,2年の復習

7

対

5

対

3

対

1

対

問題を解く

模試・過去問

3

5

7

9

総復習

演習

手を抜かず  
教科書を  
読み込もう!

アウトプットの量を  
少しずつ増やしていこう!

input

output

インプットとアウトプット、  
バランスを意識して

パシフィック・セミナー  
北山義晃代表

主なスケジュール

10月

11月

12月

1月

2月

3月

12日

21日

8日

18日

11日

27日

15,16日

20,21日

5日

18日

学力テスト総合B

学力コンクール  
(第3回)

学力テスト総合C

学力コンクール  
(第4回)

学期末テスト

三者面談

終業式

始業式

学年末テスト

学力コンクール  
(第5回)

学力コンクール  
(第6回)

私立入試A日程

私立入試B日程

公立高入試

合格発表



グラフィック・貞広隆紀

北海道新聞 朝刊  
2023年10月3日(水)  
教育面 道新先生

夢をつかむ者たちよ  
君だけの  
花を咲かせよう

旅立ちの時  
~Asian Dream Song~  
の歌詞抜粋

近づく高校入試 勉強のコツは

模試活用のポイント
①間違えた問題をやり直す
②それでもできなければ解説を読みながら解く
③解説を読んでも分からなければ学校や塾の先生に解説してもらおう
④もう一度、全ての問題を時間を計って解き直す
→なぜその答えになるのか理解できるまで何度でも解き直す

札幌で個別指導塾運営・北山さんに聞く

教科書の見直し大切に / 模試の問題解き直そう

睡眠をとりたりするや体調管理のサポートはもうちょっと、子どもの勉強や生活に口出しすぎず、温かく見守る姿勢が重要になる。

冬休みの際は総復習や演習に取り組む量を増やす。回答する時間を設定しながら、スピードを意識して問題を解けるように練習を重ね、試験本番に向けて、アウトプットの時間を10割に近づけていこう。

北山代表によると、知識を取り込む「インプット」と、問題を解く「アウトプット」のバランスを意識することが大切だ。秋のこの時期は学力を固めておく必要がある。全体の学習時間のうち、学校で教わる内容や、2年時の復習に割くインプットの時間を7割ほどで進めよう。アウトプットの量は入試本番に向けて増やしていくイメージだ。

直近の道コンは21日に行われる。模試を受けたら、①間違えた問題をやり直す②それでもできなければ解説を読みながら解く③解説を読んでも分からなければバスし、学校や塾の先生に解説してもらう④もう一度、全ての問題を時間を計って解き直す⑤を、理解が深まるまで繰り返そう。北山代表は「答えが分かっただけで、その答えになるのか理解できるまで、何度でも解き直しましょう」と助言する。

保護者は温かく見守って

秋のこの時期は、受験生は成績が伸び悩み、ストレスを感じることが多い。部活や学校祭を終えて、この受験生も本気で勉強に取り組み始め、相対的に成績が上がったことと実感を帯びていく。北山代表は「受験勉強で一番の耐性として、家庭でメンタルを崩さないように、ある生活を送ることで勉強調子を調整してあげよう」とアドバイスする。

家庭では、保護者のサポートも欠かせない。栄養のバランスがとれた食事をし、十分な睡眠をとりたりするや体調管理のサポートはもうちょっと、子どもの勉強や生活に口出しすぎず、温かく見守る姿勢が重要になる。

北山代表によると、知識を取り込む「インプット」と、問題を解く「アウトプット」のバランスを意識することが大切だ。秋のこの時期は学力を固めておく必要がある。全体の学習時間のうち、学校で教わる内容や、2年時の復習に割くインプットの時間を7割ほどで進めよう。アウトプットの量は入試本番に向けて増やしていくイメージだ。